



かめおか
プラスチ
ックごみ
ゼロ宣言



京阪神の大都市近郊にありながら 豊かな自然に恵まれた京都府亀岡市



京野菜の産地「京の台所」 亀岡

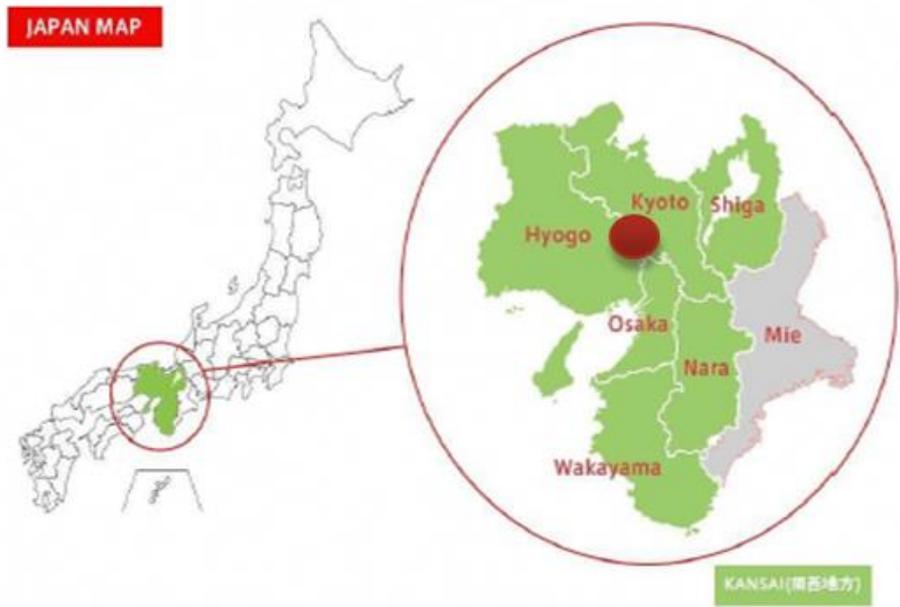


亀岡市の三大観光



～保津川下り
～トロッコ列車
～湯の花温泉

- ・京都市の西隣に位置し、JR京都駅から快速21分、高速道路網で大阪府
- ・兵庫県と結ばれている利便性の高い立地環境
- ・京都随一の穀倉地帯
- ・人口 87,741人（2021.4.1時点）



～亀岡のまちを包む霧～
大地の呼吸である霧は、京野菜をはじめ、質の高い農産物を育てている。



春



夏



秋

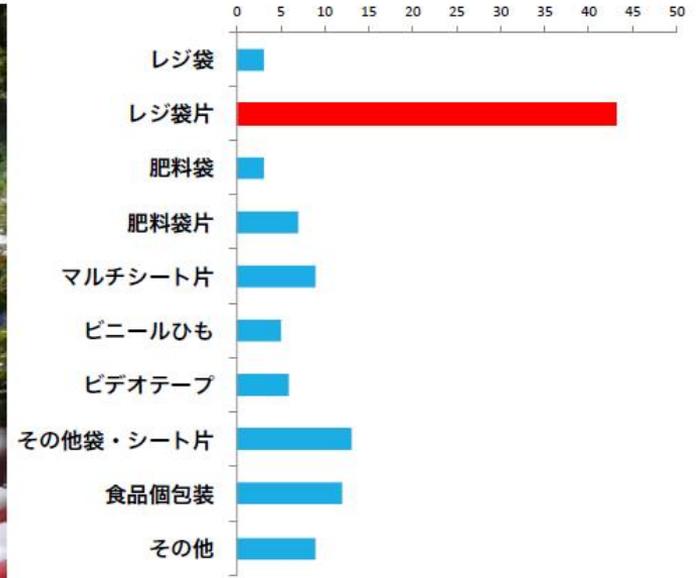


冬

保津川に漂着するプラスチックごみの状況



保津峡に漂着したごみ

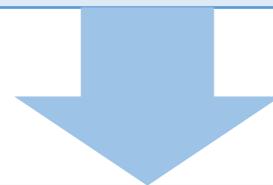


2010.10.06 保津峡・清水



「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」に至る経過

2004年	保津川下りの船頭 さんによる清掃活動が始まる
2007年	保津川の環境保全に取り組む NPO法人プロジェクト保津川 が誕生(法人設立は2008年)
2012年	内陸部の自治体初 海ごみサミット2012亀岡保津川会議 開催
2013年	(みんなでつくろう) 川と海つながり共創プロジェクト 設立
2015年	環境先進都市を目指すビジョン を示す
2018年	亀岡ゼロエミッション計画 を策定



2018年12月13日かめおかプラスチックごみゼロ宣言

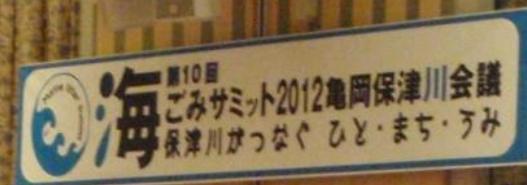
第10回海ごみサミット2012亀岡保津川会議の開催



海ごみサミット2012かめおか保津川会議
保津川がつなく ひと・まち・うみ
～流域から海洋ごみの発生抑制を考える～

8月24日(金)/25日(土)/26日(日) 国内外から延べ約500名参加

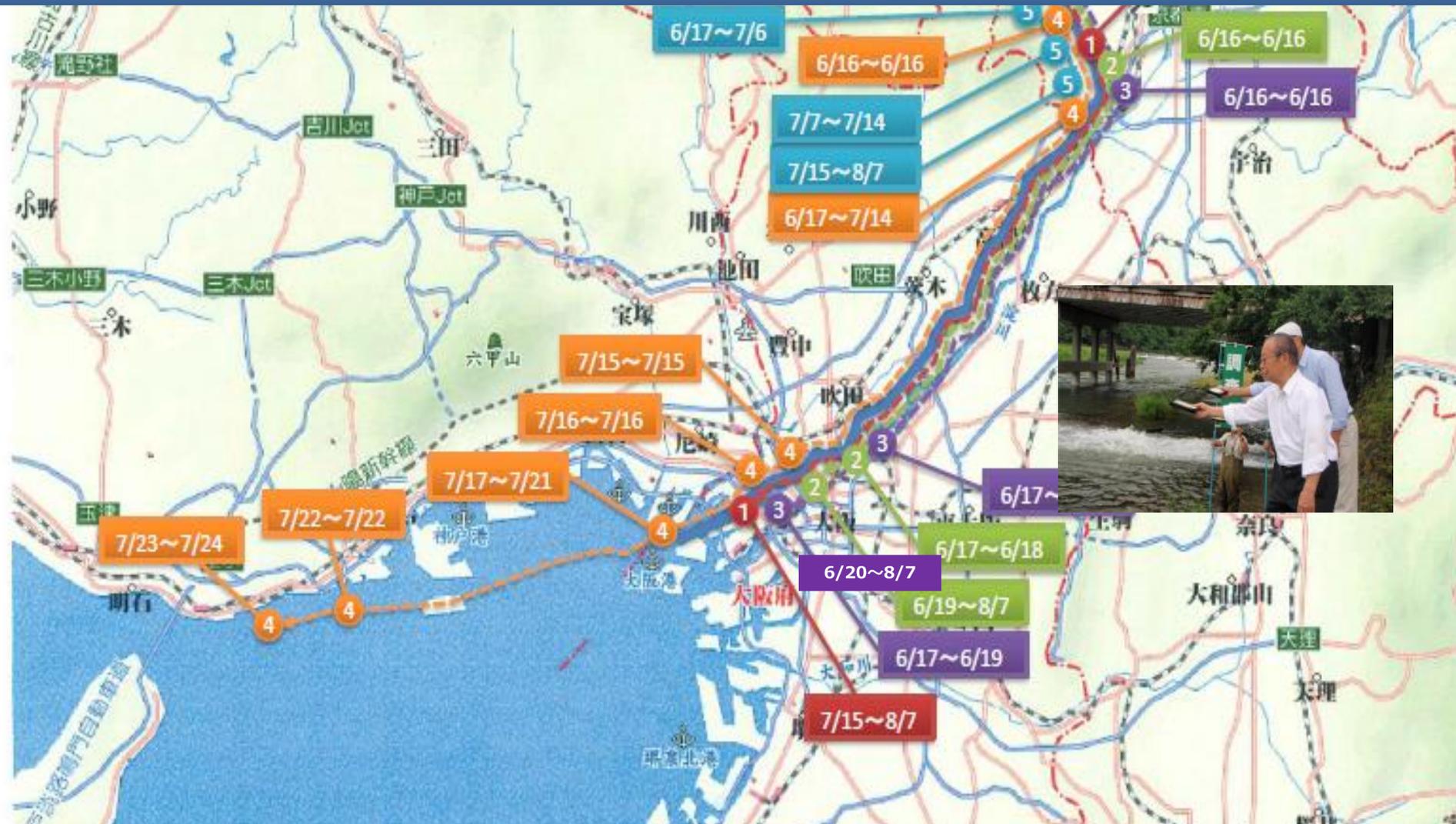
- 亀岡保津川宣言
 - 川のごみや海のごみをともに考える京都流域宣言
- 両宣言を発表して閉幕



第三部 全体討議
テーマ「流域からの発生抑制」
～人の意識と社会のしくみをこつ

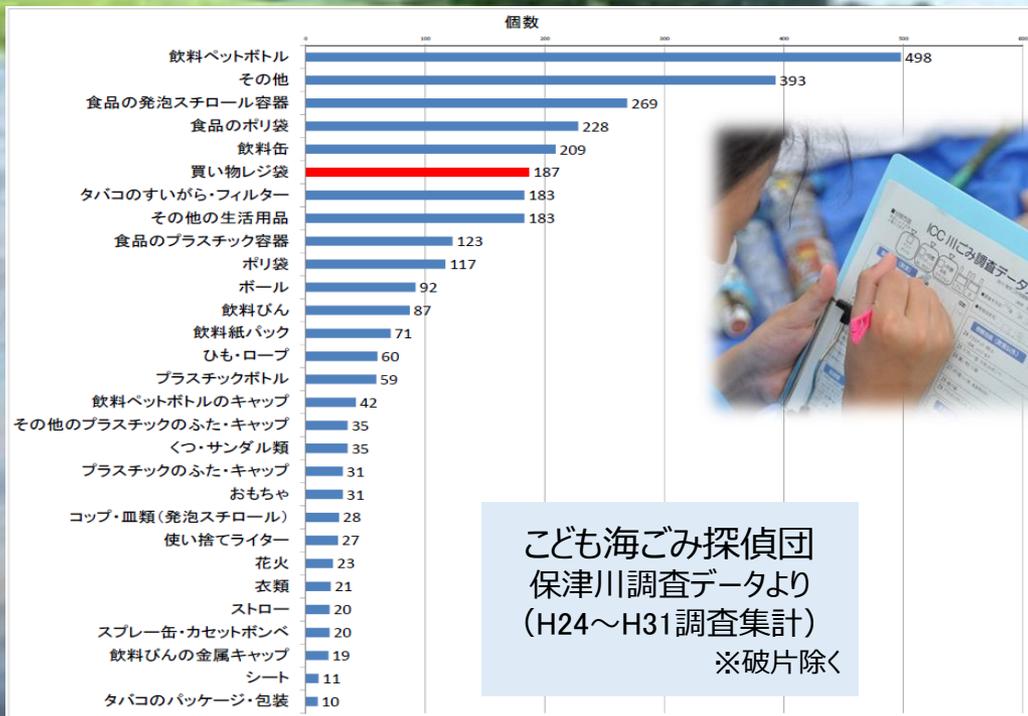


河川ごみ漂流状況モニタリング調査 GPS付き発信機放流調査データ(2012年)



大阪湾まで約80 k m
※亀岡から大阪湾までは 1日でごみが到達！
※内陸部からの発生抑制対策が重要

こども海ごみ探偵団 【平成24年度～】



こども海ごみ探偵団
保津川調査データより
(H24～H31調査集計)
※破片除く



「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」 宣言文

深刻化する海洋プラスチック汚染は、魚や海鳥などの海の生態系にまで大きな影響を与え、地球規模の問題となっています。ここ亀岡でも、大量のペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみ問題が、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、そして観光にも大きな影響を与えているだけでなく、「市の魚 アユモドキ」に代表される多様な川の生態系にも影響を及ぼすことが危惧されています。

この問題は、私たち一人ひとりの身近な問題として捉えていく必要があります。そして、私たちにできる身近な取組みを国内外の他都市とも連携し、湧き上がるような大きな流れを巻き起こしていかなければ解決できるものではありません。

今、世界では、使い捨てプラスチックごみの削減に向けた動きが加速しています。亀岡市は、平成24年に内陸部の自治体で初めてとなる海ごみサミットを開催し「母なる川保津川」から海ごみをなくす取組みを発信してきました。こうした取組みをさらに深化させ、みなさんとともに2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。

そして、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現します。

2018年12月13日

亀岡市長 桂川孝裕 亀岡市議会議長 湊泰孝

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」 宣言文

【目指す目標】

- 1 市内の店舗でのプラスチック製レジ袋有料化を皮切りにプラスチック製レジ袋禁止に踏み切り、エコバック持参率100%を目指す取組みを進めます。
- 2 「保津川から下流へ、そして海にプラスチックごみを流さない。」世界規模の海洋汚染(マイクロプラスチック)問題に立ち上がる意識のつながりを呼び掛けます。
- 3 当面発生するプラスチックごみについては100%回収し、持続可能な地域内資源循環を目指します。
- 4 使い捨てプラスチックの使用削減を広く呼びかけ、市内のイベントにおいてもリユース食器や再生可能な素材の食器を使用します。
- 5 市民や事業者の環境に配慮した取組みを積極的に支援し、世界最先端の『環境先進都市・亀岡』のブランド力向上を目指します。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会の設立

- 2019年4月に発足した協議体（現在、産官学35団体で構成）。
- レジ袋禁止条例ほか、市の環境政策について多様な立場から議論する。

世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会



参画組織	組織数
住民関係組織	1
観光事業者	6
小売事業者	11
学識経験者	2
NPO等	7
金融機関	4
行政機関	4

【ポイント】

- ・ 会長は保津川遊船企業組合の代表理事、副会長はNPO代表及び亀岡市商工会議所の専務理事がそれぞれ務め、多様な意見を言いやすい体制にする。傍聴可能、メディアに公開。
- ・ 事務局や議案の提出は、市役所環境政策課が務めることで、議事の停滞を防ぐ。
- ・ 「消費者の理解があれば、レジ袋禁止は可能」という声が事業者から出てくるようになった。

Plastics Smart かめおか100人会議

Plastics Smart  かめおか100人会議
 亀岡のシティプライドづくりへの挑戦！



Plastics Smart かめおか100人会議

3 実施内容 (1)ローカルとグローバルな視点で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」に込めた想いを共有するミーティングを次の流れで進めます。

■「源流」…たった二人の船頭の活動から流れがスタート。その当時の現状、活動に込めた想い。

【保津川遊船企業組合 豊田知八（とよだ・ともや）理事長

Step1
7/21又
は
8/10

■「シビックプライドの創造」…市民、NPO等のネットワークが拡大。行政として「環境」を切り口に「地域ブランド」の向上さらには、「シビックプライド」の創造へと展開。

【亀岡市環境政策課 山内 剛（やまうち・つよし）課長】

■「世界の潮流」…世界のプラスチックフリーへの潮流。その流れの最新情報と亀岡市の取組みの意義は。

【大阪商業大学 原田禎夫（はらだ・さだお）准教授】

【亀岡市企画管理部 仲山徳音（なかやま・なるね）地方創生担当部長

■フリーディスカッション

プラごみゼロ想い共有ミーティング
【亀岡市】

シリーズ
イベント

Step2
8/17

(2)上記(1)のミーティング参加者をロゴマーク制作プロジェクトのワークショップへつなげ、ロゴマークのアイデアシートを作成します。

【ファシリテーター：山崎 亮（やまざき・りょう）氏】

Step3
9~11月

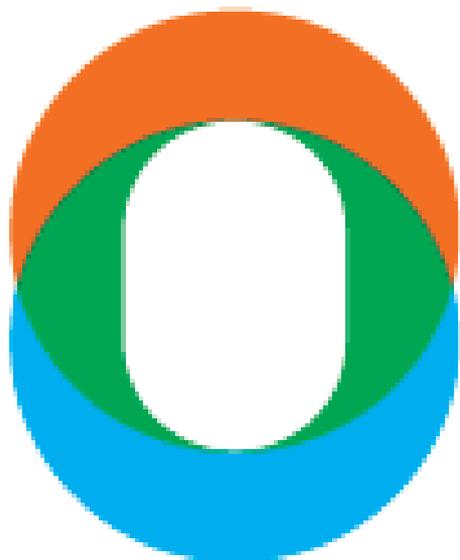
(3)上記(2)のワークショップで作成したロゴのアイデアシートと関係者（ワークショップ参加者を含む）とともに、デザイナーによるロゴマークデザインへ展開します。【デザイナー（奥村昭夫（おくむら・あきお）氏）

ロゴマーク制作プロジェクト
【かめおか霧の芸術祭実行委員会】

2020年1月 『かめおかプラスチックごみゼロ宣言』の象徴となるロゴマークの完成



ともに生きる



プラごみゼロ

ロゴマーク制作ワークショップについて

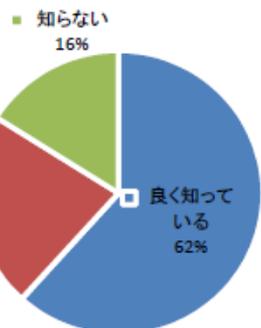
- ・ Plastics Smart  かもおか100人会議の参加者を中心に19名が参加
- ・ 中学生、高校生、商業者、船頭、NPO、金融機関などから幅広く・多彩な市民が終結
- ・ 2019年9月から12月まで4回のワークショップを開催
- ・ 江崎グリコやロート製薬のロゴマークを手掛けたデザイナー奥村昭夫氏の進行により、参加者の言葉や想いが引き出された。そして…

空と太陽、大地と緑、川と海、
そのような生きとし生けるものが
集まって「ともに生きる」という
想いをゼロという文字で表現した
デザインが誕生しました。

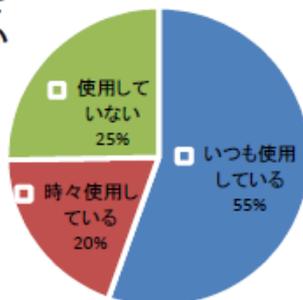


市民説明会での意識調査 28会場・回答者610名

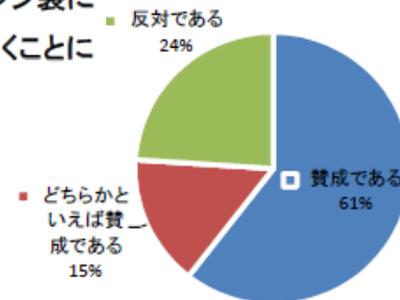
④プラごみが海洋プラスチック汚染につながっていることを知っているか



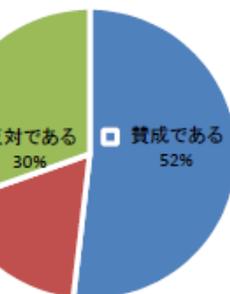
⑤エコバッグを使用しているか



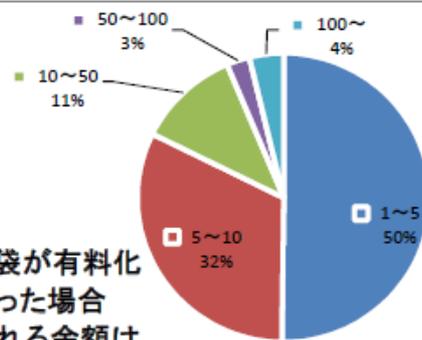
⑥紙製レジ袋になっていくことに



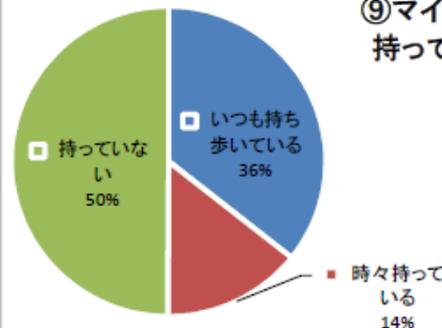
⑦レジ袋の有料化、条例で提供禁止になることに



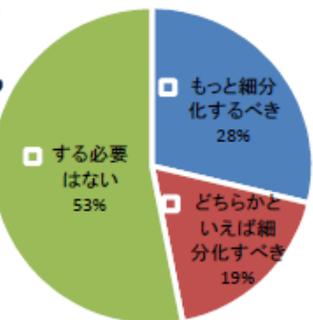
⑧レジ袋が有料化となった場合許容される金額は



⑨マイボトルを持っているか



⑩資源化の促進のため、ごみの分別を現在よりも細分化すべきか



自治会集計

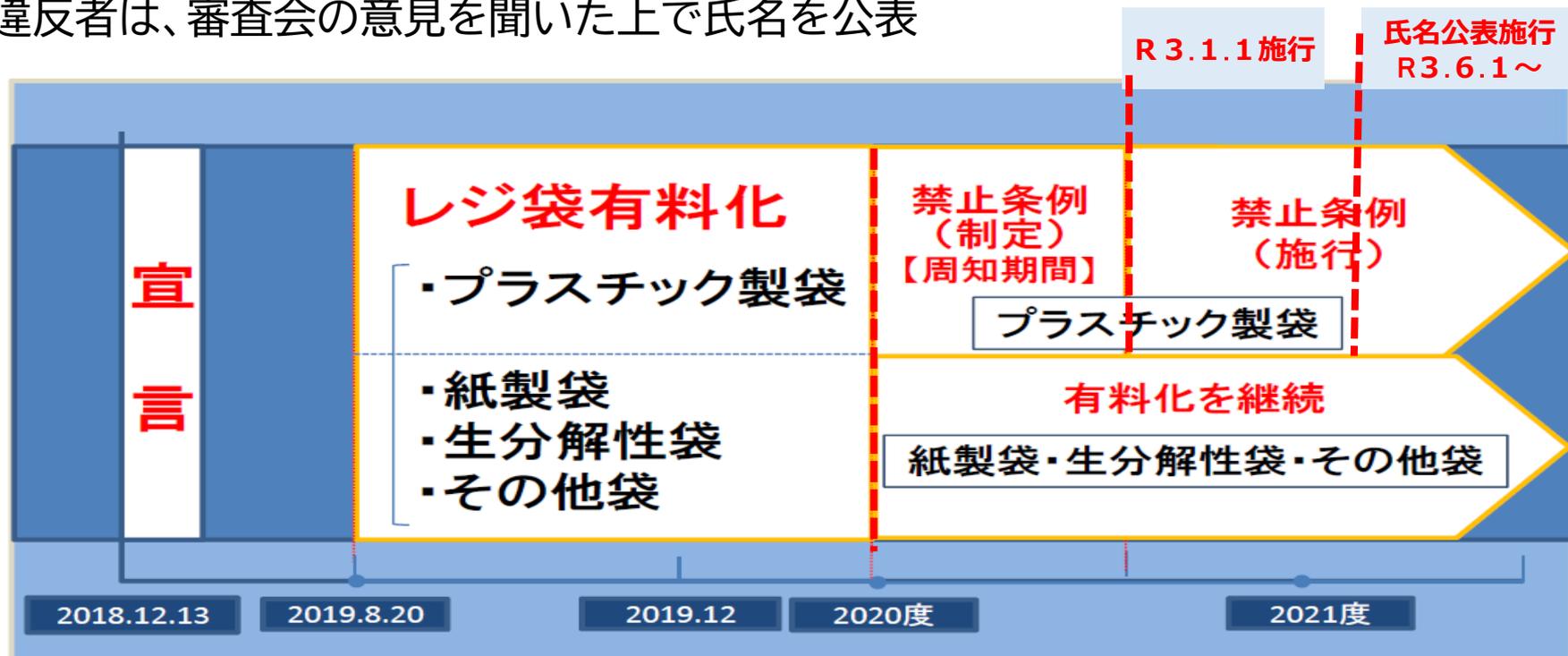
①年齢・性別	男性	女性	10代	0	30代	5	50代	87
	367	208	20代	4	40代	31	60代以上	437
②職業	会社員	自営業	学生	公務員	無職	その他		
	112	47	3	18	275	122		
③住まい	市内	市外						
	577	3						

レジ袋の有料化 ~ そして提供禁止条例制定へ

- ▶2019年8月20日 レジ袋有料化スタート
- ▶2020年3月24日 亀岡市プラスチック製レジ袋提供禁止に関する条例制定
- ▶2021年1月 1日 同条例施行

【条例の概要】

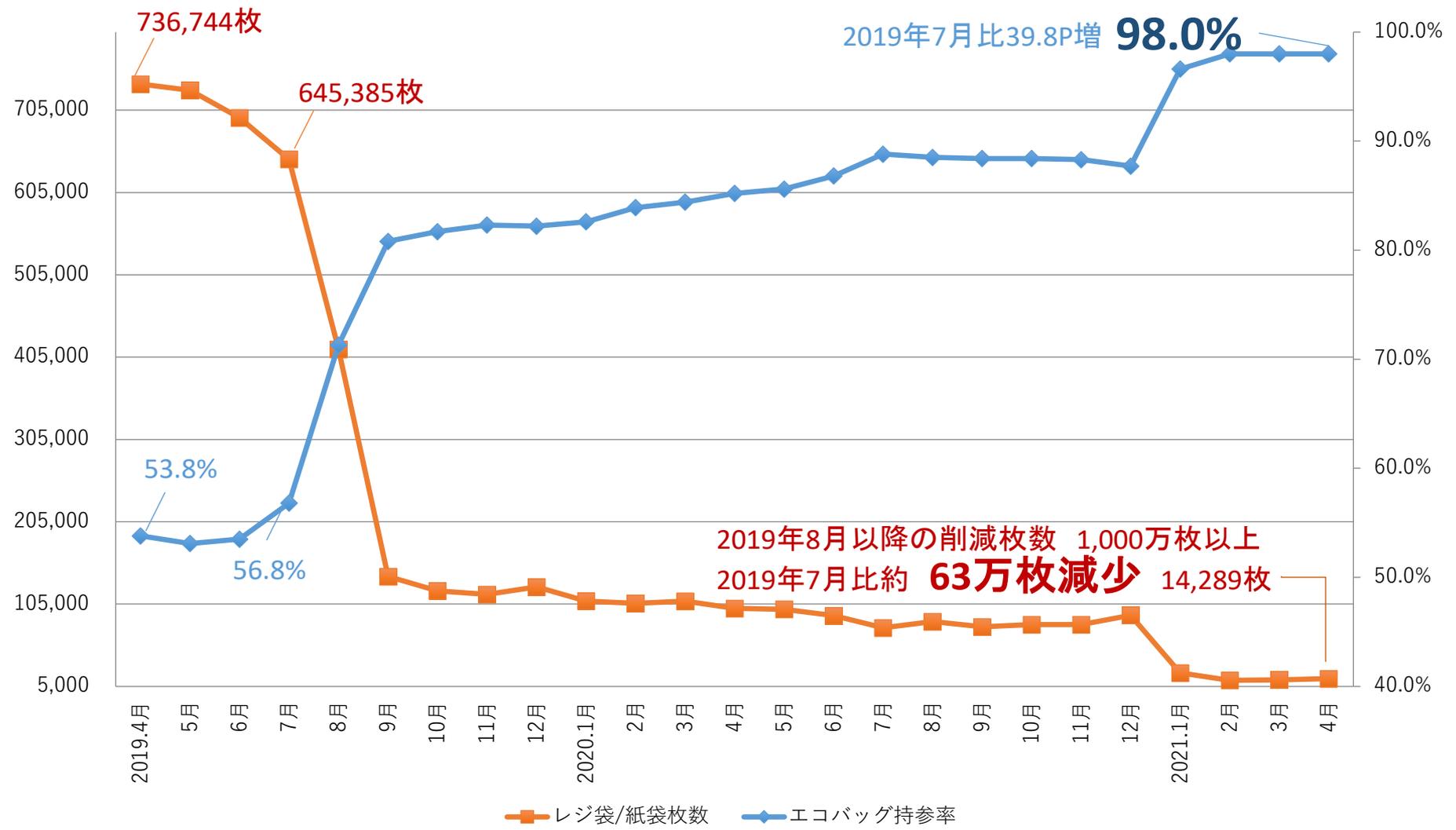
- ・事業者がプラスチック製レジ袋(生分解性の袋を除く)を提供することを禁止
- ・生分解性の袋であっても無償で提供することを禁止
- ・違反者は、審査会の意見を聞いた上で氏名を公表



1 かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業

① プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

エコバッグ持参率・レジ袋/紙袋枚数の状況



プラスチック製レジ袋の提供禁止条例の施行に向けて

▶ 紙袋の共同購入事業



No	規格	サイズ(cm) 幅×マチ×高さ
①	S	22 × 14 × 25
②	M	26 × 16 × 26
③	弁当用	35 × 21.5 × 20.5
④	L	35 × 15 × 35
⑤	2L	35 × 22 × 45



(裏面)



(底面)

「環境×芸術」のコラボによるレジ袋削減に向けた取組み



大空を飛んでいたパラグライダーが
その役目を終え、再びエコバッグとして
生まれ変わり、まちを飛び回る



パラグライダーの生地を
パッチワーク状に仕立てた
巨大エコバッグ



KAMEOKA FLY BAG

FLY BAG Project



巨大エコバッグからオリジナルエコバッグをつくるワークショップの様子

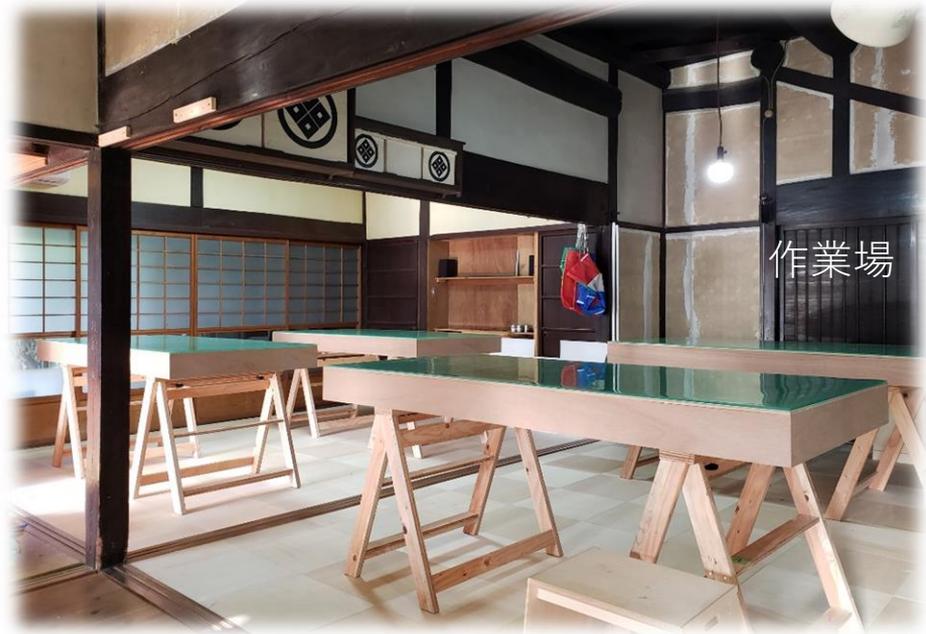


水が海から雲になり
やがて雨として山に降り
川を流れて海に着くように
とてどろ前まで自然の循環を
FLY BAGが材料に生み出します。

THEATRE PRODUCTS



啓発イベントから経済活動へと展開 HOZU BAG拠点施設の整備



HOZUBAGとして銀座ロフトで販売スタート (2020.10~)



HozuBAG
HOZUBAG
(ホズバッグ)

次は、高品質な生地、快適な使い心地、そして、環境にやさしい素材を使用した、新しいデザインに挑戦しようとしてきた。そして、その結果、HozuBAGが誕生した。HozuBAGは、高品質な生地、快適な使い心地、そして、環境にやさしい素材を使用した、新しいデザインに挑戦しようとしてきた。そして、その結果、HozuBAGが誕生した。

loft

企業と連携した環境教育事業【ソフトバンク株】

- ▶ Pepperを活用した環境教育プログラムの公開授業の様子
海洋ごみ問題を題材にしたスクールテンプレートを亀岡から全国に発信



2019.11.19 亀岡市立吉川小学校

企業と連携した環境教育事業【(株)ユニクロ】



2020.9.11 亀岡市立南桑中学校



FAST RETAILING UNIQLO GU

2020年度
“届けよう、服のチカラ”
プロジェクト

市内の中学校向け授業

企業と連携した環境教育事業【BRITA japan(株)】

亀岡市とBRITA Japan (株)は2020年6月30日に
環境および**教育事業**での包括連携協定を締結いたしました。

PRESS RELEASE

報道関係各位

2020年6月30日
亀岡市・BRITA Japan株式会社

環境先進都市・亀岡市の使い捨てプラスチックごみゼロを浄水ボトルや教材等で促進

亀岡市とBRITA Japanが包括連携協定を締結

環境教育用教材の共同開発 & マイボトル普及の強化

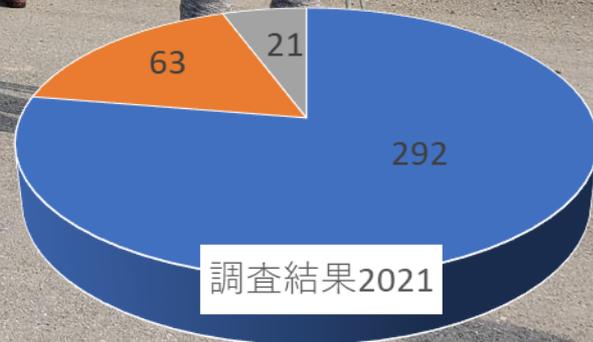
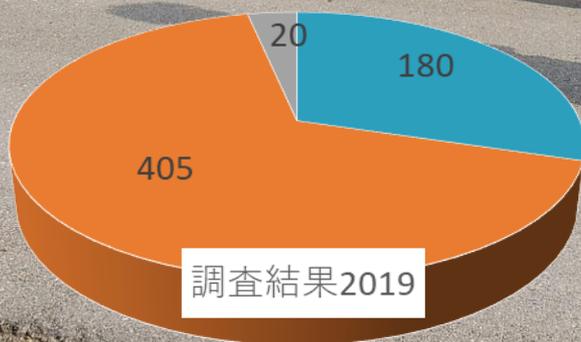
亀岡市（市長：桂川孝祐）とドイツ生まれの家庭用浄水器メーカーBRITA Japan株式会社（東京都中央区、代表者：マイケル・マギー）は、環境及び教育事業での包括連携に関する協定を締結したことをお知らせします。
本連携に伴い、亀岡市は「かめおかプラスチックごみゼロ」の取り組みをさらに強化し、給水スポットの整備やマイボトルの普及の強化を予定しています。また、亀岡市とBRITA Japanは、環境関連イベントでの浄水ボトルのサンプリングの実施、さらには、亀岡市内の学校に向けた環境教育用教材の共同開発を進めてまいります。



次世代につながる 保津川クリーン作戦



全国川ごみネットワーク「水辺のごみ見つけ！」調査結果



□ ペットボトル □ レジ袋 □ カップ型飲料容器

河川漂着ごみモニタリング調査

■事業概要

河川の流れを阻害しないフロートを設置し、漂着ごみのサンプリングを実施。

■対象河川

西川（篠町）、年谷川（保津町）、雑水川（南郷町）、犬飼川（宇津根町）、千々川（千代川町、護岸改修工事に伴い中止中）



登録者数 781名 (2021.6.25現在)



◆エコウォーカーとは

- エコウォーカーは、ウォーキングしながら行う、身近で気軽に自由な清掃活動です。

◆活 動

- それぞれが自由な時間・タイミングで、気軽にウォーキング&ごみ拾いへGO！！
- 収集が困難な不法投棄や大量のごみを発見したときは、環境政策課へ通報！！

◆応募方法

- 応募用紙を、亀岡市役所環境政策課へ！！

※FAX、メール可

(22-3809/kankyo-soumu@city.kameoka.lg.jp)



[詳細・応募用紙はこちら](#)



問：環境政策課 ☎25-5024

リバーフレンドリーレストランプロジェクト (2021年3月15日~)



■環境に配慮した取組みを実践する市内飲食店等を募集し、市内外に情報発信⇒さらなる誘客につなげる

■環境先進都市・亀岡市のブランドイメージ向上と地域経済の活性化を目指す

【River Friendly Restaurants 認定基準】

- 次の認定基準をすべて満たす
 - ・発泡スチロール容器は使用しない
 - ・ごみの減量と適切なリサイクルに取り組む
 - ・店舗内での商品の提供には、使い捨て食器等を使用しない
 - ・テイクアウト時の紙袋やカトラリー類は、顧客の要望があった場合にのみ提供する
 - ・紙ストローは顧客が希望した場合にのみ提供する
 - ・無料でマイボトルに給水できる
- 「ペットボトル製品を販売しない」などのオプション基準を2以上満たす



■エコ・スポンサー料（登録料）として3,000円負担
⇒こども達の環境学習活動などに活用
⇒次世代の育成

登録店舗：11店
(2021年6月25日現在)



『マイボトル持参』・『ペットボトルごみの削減』へのアプローチ

アクション1

公共施設へのボトル型給水器の設置 公共施設7か所



アクション2

2021年3月1日募集開始

市内の店舗と連携した給水スポットづくり

登録店舗：25店
(2021年6月25日現在)



アクション3

アプリで水を探すという
新しいライフスタイルの実践



「リユース食器」利用促進事業（2020年7月1日～）

Jリーグ 京都サンガF.C.のホームゲーム開催日に「かめきたサンガ広場」で開催される「かめおかecoマルシェ」など、市内で開催されるイベントで使用するリユース食器の借上げ費用に対して補助金を交付



亀岡市リユース食器利用促進補助金の概要

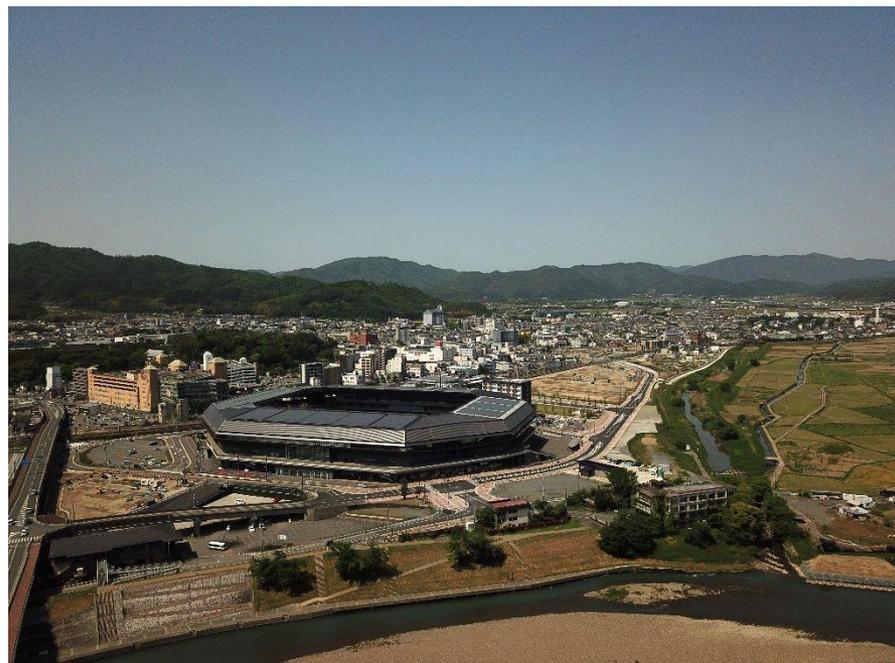
- 対象者
 - ①市内でイベントを主催する団体及び個人
 - ②市内で開催するイベントに出店する団体及び個人
- 対象事業
 - 市内で開催されるイベントにおいて、リユース食器を合計100個以上利用する事業
- 補助率
 - リユース食器の借上げ費用の3分の2以内（上限20万円）



(仮称) 環境政策情報発信・交流拠点施設 整備概要 (案)

■設置目的

『世界に誇れる環境先進都市』を実現するため、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡市』のブランド力向上」を目指し、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人々が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡市」が世界に広がることを目的に拠点施設を整備します。



R 3

- ・建物調査
- ・基本構想策定
- ・実施設計

R 4

- ・工事実施

「環境」を軸とした「ブランド力」の向上と「シビックプライド」の醸成

保津川の自然景観の魅力向上
【観光産業の振興】



エコツーリズムへの展開

観光消費額
の増加

エネルギーの
地産地消

亀岡ふるさとエネルギー／消化ガス発電
【エネルギーの地域循環】



豊かな環境の保全

アユモドキの保全
【保津川の生態系の保全】



京都・亀岡保津川公園
(グリーンインフラ整備)

企業誘致・雇用創出

人と環境にやさしい
循環型農業の推進
【「農産物」のブランド力向上】



地産地消+地域外所得の獲得

亀岡ブランド力
シビックプライド

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



まちの担い手づくり

環境教育の推進
【「次世代教育」の展開】



こども海ごみ探偵団

まちのしごとづくり

芸術とのコラボレーション
【アート×企業×行政×価値の創造】



FLY BAG Project

ごみ処理費用
の低減

リサイクルの促進
【市域内での資源循環】



2020年度SDGs未来都市 自治体SDGsモデル事業に選定 かめおか霧の芸術祭 × X (かけるエックス)

地域経済循環率が低い 日帰り客の消費が低迷 生産年齢人口が減少 耕作放棄地率が増加 プラごみが問題化

地方創生☆政策アイデアコンテスト2019 最優秀賞
かめおか霧の芸術祭

経済

- アートマーケット
- まちなかプロジェクト
- KAMEOKA FLY BAG Project
- Harvest Journey Kameoka

地場産品や体験を市内外の客に販売するマーケット/導線の育成

社会

- やおやおや
- ダーチャ
- 地域ブランド農産物認定制度
- 知の共有
KIRI WISDOM
KIRI? 芸術大学
小学校教育プロジェクト

交流の接点づくりとブランド化による新陳代謝のある農業コミュニティの実現

環境

- プラごみゼロ具体化事業
マイボトル普及施策
レジ袋禁止条例の施行
ポイ捨て抑止と清掃活動
- ロゴマークを活用した情報発信
- シンポジウム

市民一人ひとりに伝わるプラごみゼロ施策の実行と発信



消費や投資の呼び込み

体験型観光の定着

イノベーションの創発

コミュニティの新陳代謝

環境先進都市の実現

市民が社会的につながり商業・投資・イノベーションが活発な都市

農業や自然とともに暮らす都市

ごみを極力出さない社会

2030年のあるべき姿



亀岡市役所地下1階に『開かれたアトリエ』をオープン！！ (2021年4月14日)

京都芸術大学と協働して、地下レストランを分野横断的に人々が交流できる多機能空間にリニューアル

▶年に数回テーマを変えながらの展覧会や、KIRI²芸術大学等のワークショップ、オンライン配信、亀岡産野菜の販売なども順次実施

▶図書コーナー、フリーWi-Fi完備

▶レストランは『ATLR CAFÉ(アトリエカフェ)』としてリニューアル！

▶亀岡牛や亀岡産野菜を使った多彩なメニューを提供

▶テイクアウト用カップにはサトウキビを使った素材を使用するなど、環境にも配慮



- 飲食しない人も自由に利用可能
- 利用料 無料
- 時間 9:00~17:00
- 土日祝も利用可 (年末年始を除く)
- カフェは平日のみ営業